

Sustainability Report

# サステナビリティレポート 2024

もっと、グリーンな明日に。



エコモット株式会社



# もっと、グリーンな明日に。 Towards a Greener Tomorrow

地球温暖化がどんどん深刻になり、世界の平均気温は上がる一方です。経済成長が優先され、自然は破壊、地下資源がどんどん使われます。私たちは、これからの地球環境を次世代に残す責任があります。AI や IoT などの最先端のテクノロジーを駆使して、創エネ、省エネ、蓄エネで地球環境を変えていくことが私たちの使命です。「IT をツールとして環境を守る」創業時の理念に立ち返り、グリーントランスフォーメーション GX 社会の新たな時代に、私たちはテクノロジーで貢献していきます。

コーポレートスローガン	01
企業理念・トップメッセージ	02
事業概要	03
沿革	04
サステナビリティ基本方針	05
サステナビリティ活動サマリ	06

## 環境

環境トップページ	07
ユニークなアイデアで新しいソリューションを創出	08 - 10
融雪制御装置の省エネ運転で CO2 削減	11
再生可能エネルギーの発電と利用	12

## 働く人

働く人トップページ	13
働きがいのある仕事・より良い働き方の構築	14
社員やその家族・大切な人のウェルビーイングの向上	15
チームワークの向上と健康な体づくり	16

## 社会貢献

社会貢献トップページ	17
次世代を担う人材の育成	18
安全で安心して暮らせるまちづくり	19
災害対策と復興支援	20
コーポレート・ガバナンス	21
会社概要	22

Mission エコモットの使命

## 未来の常識を創る

Vision あるべき姿

## もっと、グリーンな明日に。

AI & IoTで社会課題を解決

Credo 行動指針

- 成長にコミット **Commit to Growth**
- イノベーションへの挑戦 **Challenge for Innovation**
- チームでコミュニケーション **Communicate with Team**
- 注意深くスピーディに **Carefully and Speedy**
- 社会への貢献 **Contribution to Society**
- 健康に気を配る **Care for Wellness**



インターネットが社会のインフラとなった今、これからはITをツール（道具）として、社会問題にどう生かすか？というのを考え、実行していくのが、我々エコモットのミッションです。

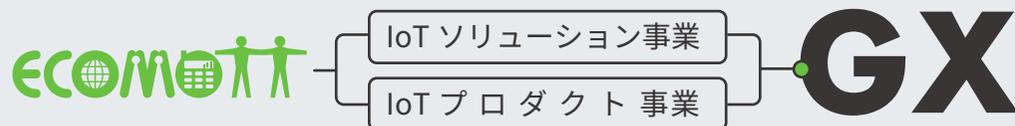
地球温暖化による環境問題や人口減による少子高齢化問題など、我々は様々な社会問題と直面しております。この問題は誰かが解決してくれるわけではありません。我々が自ら主体となって取り組んでいかななくてはならない問題なのです。

エコモットでは、モバイルインターネットを中心としたソリューションを提供し、世の中のインフラとして機能し、無くてはならない会社となることを目指しております。ユビキタス社会のリーディングカンパニーとして、誰もがやったことの無い事に取り組み、お客様と共に悩み苦しみ、そして喜び、新しい常識を創って行く。

それが我々エコモットが目指す会社像です。

代表取締役 *Takuya Irisawa*

# Company



エコモットはお客様のビジネスに IoT を導入支援する「IoTソリューション事業」と自社の技術力を活かした自社サービスを展開する「IoTプロダクト事業」の2軸でビジネスをおこなっています。

## IoTソリューション事業

### 顧客の課題から必要なデータを収集 GXにおけるベネフィットを最大限に引き出す



エコモットのIoTエキスパートが顧客の課題をヒアリングし、ターゲットとなる「モノ」のデータ収集をおこない、サーバー構築からアプリ開発、必要に応じてAIによる業務の効率化・オートメーション化・品質の向上などをご提案します。

従来の課題であった、社内のIT人材不足や各レイヤーにおけるデバイス・開発先の選定などに悩むことなく、いかにGXにおけるベネフィットの部分拡大していくかという重要な点に注力することができます。

## 融雪システム遠隔監視ソリューション「ゆりもっと」



融雪ボイラーの設置された施設の路面状況を監視カメラでモニタリングしながら適切な運転をすることにより、融雪にかかるエネルギーコストを大幅に削減するサービスです。2000台弱の導入実績があり各方面より多くの表彰をいただいています。

## EVスタンド導入IoT運用管理サービス「ユアスタンド」



集合住宅や商業施設向けにEVスタンドの導入から運用までワンストップで提供、IoTにより現地の利用状況を収集、専用アプリでスマートに利用&管理ができます。

## 太陽光発電事業「株式会社パワーでんきイノベーション」



再生可能エネルギーの活用を中心とする、太陽光発電システムや蓄電池システムなど、あらゆる規模に対応した、企画・設計・販売・施工を一貫しておこなっています。また、今後のエネルギー事情を踏まえ、再エネ関連製品の企画・開発を積極的におこなってます。

# History

## 2007



融雪装置遠隔制御代行サービスを開始  
北海道札幌市白石区にて設立  
融雪装置遠隔制御システムの特許取得

## 2009



建設情報化施工支援ソリューション  
「現場ロイド」をリリース  
本社を北海道札幌市西区に移転  
青森県青森市に青森営業所開設

## 2013



融雪装置遠隔制御代行システムの特許取得  
本社を北海道札幌市中央区に移転

## 2014



IoT データコレクトプラットフォーム  
「FASTIO」をリリース  
交通事故削減ソリューション「Pdrive」をリリース

## 2016



株式会社テラスカイと業務・資本提携  
KDDI 株式会社と提携し  
「KDDI IoT クラウド Standard」をリリース

## 2017



札幌証券取引所アンビシャス市場に株式を上場

## 2018



東京証券取引所  
マザーズ (現グロース) 市場に株式を上場

## 2019



KDDI 株式会社と業務・資本提携

## 2021



ユアスタンド株式会社と業務・資本提携  
子会社 株式会社パワーでんきイノベーション設立  
合弁会社株式会社プレミア・ブライココネクト設立  
ティ・アイ・エル株式会社と業務・資本提携

## 2023



積水樹脂株式会社と業務・資本提携  
子会社 株式会社 GRIFFY 設立

# Sustainability Report

## サステナビリティ基本方針

私たちは、「もっと、グリーンな明日に。」をスローガンに社会の持続可能な発展に貢献することを企業の責任と考え、サステナビリティに関する取り組みを積極的に推進します。カーボンニュートラル社会の実現、そして地域社会との共生を基本方針とし、未来の世代に豊かな地球を残すために、企業活動のあらゆる側面で持続可能性を追求します。

### 行動指針

成長にコミット Commit to Growth  
イノベーションへの挑戦 Challenge for Innovation  
チームでコミュニケーション Communicate with Team  
注意深くスピーディに Carefully and Speedy  
社会への貢献 Contribution to Society  
健康に気を配る Care for Wellness

ステークホルダーの皆さまにエコモットの活動を伝える  
お客さま・株主さま・お取引先さま・社員・地域社会・子供たち



### サステナビリティ活動

融雪制御装置の省エネ運転で CO2 削減  
ユニークなアイデアで新しいソリューションを創出  
チームワークの向上と健康な体づくり  
働きがいのある仕事・より良い働き方の構築  
安全で安心して暮せるまちづくり  
社員やその家族・大切な人のウェルビーイングの向上

自社の技術力で、より多くの人々のウェルビーイングを  
探求し、持続可能な社会を目指す

## サステナビリティ活動報告

当社グループは、サステナビリティ活動を「環境・働く人・社会貢献」に分類し、「働く人」における、働きがいのある仕事・より良い働き方の構築（P14）と社員やその家族・大切な人のウェルビーイングの向上（P15）を軸とした指標を定めます。当グループでは既に顧客への当グループ商品提供を通じて環境負荷低減を実現していますので、これらのサステナビリティ目標を新たに定めることにより、企業の社会的責任を更に推進できるものと考えております。

## 対象期間

2023年11月27日～2024年11月27日  
※実績データは一部過去のものも含まれます。

## 対象組織

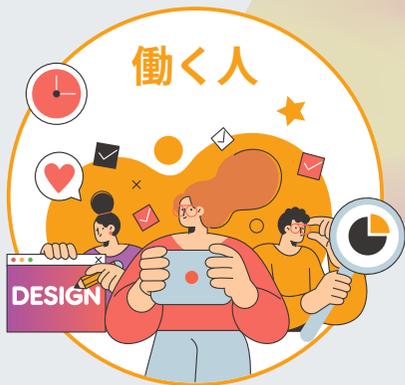
原則としてエコモット株式会社を対象としています。  
※一部、グループ会社である株式会社 GRIFFY・株式会社パワーでんきイノベーションの取り組みを紹介しております。

# Activity summary



コーポレートスローガン

## 未来の常識を創る



持続可能な社会 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 環境

IoT・AI テクノロジーによる GX 推進

ユニークなアイデアで新しいソリューションを創出

融雪制御装置の省エネ運転で CO2 削減

再生可能エネルギーの発電と利用

### 働く人

ウェルビーイングの向上

働きがいのある仕事・より良い働き方の構築

社員やその家族・大切な人のウェルビーイングの向上

チームワークの向上と健康な体づくり

### 社会貢献

持続可能なまちづくり

次世代を担う人材の育成

安全で安心して暮せるまちづくり

災害対策と復興支援

# Environment 環境

## IoT・AI テクノロジーによる GX 推進

エコモットは環境問題を解決するための IoT・AI ソリューションを提供しています。  
近い未来、それが当たり前になるような新しい革命的な製品を世に出し、人々の幸せに貢献します。

ユニークなアイデアで新しいソリューションを創出

融雪制御装置の省エネ運転で CO2 削減

再生可能エネルギーの発電と利用

## GX とは？

「GX」とは Green Transformation の略称で、経済産業省が提唱する脱炭素社会に向けた取り組みを指します。GX はカーボンニュートラル実現、それを契機とした経済成長の両立を目指す取り組みであることが大きな特徴です。

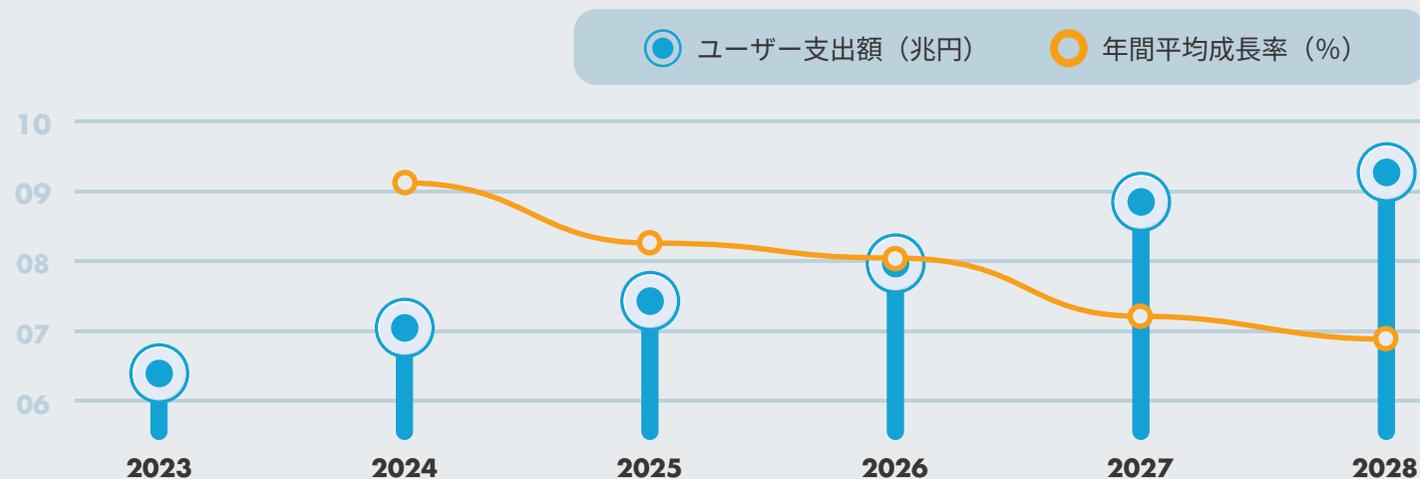
ロードヒーティング遠隔監視ソリューション「ゆりもっと」では年間 23,000 トン以上 CO2 を削減しており、さらには EV 充電インフラや建設現場のカーボンニュートラル支援プロジェクトを推進し、持続可能な社会の実現を目指しています。

# IoT Technology

## 持続可能な社会に必要な不可欠な IoT テクノロジーとは

IoT とは「Internet of Things (モノのインターネット)」の略で、インターネットに接続された物理的なデバイスや機器が互いに通信し、データを交換するシステムのことを指します。これにより、デバイス間の連携が可能になり、効率的でスマートな操作が実現します。

## 国内IoT市場 支出額予測 2023年～2028年 (出典：IDC 国内 IoT 市場 支出額予測、2023年～2028年)



国内 IoT 市場におけるユーザー支出額の 2023 年実績は 6 兆 4672 億円、2023 年～2028 年の年間平均成長率 (CAGR) は 8.0% で成長し、2028 年には 9 兆 4818 億円に達すると予測されています。

### Point CO2 排出量や稼働データ等は環境課題解決に必要な不可欠



環境課題に対する解決策を講じるためには、CO2 排出量や対象となるモノや人の稼働、環境データ等、様々なデータを可視化する必要があります。

エコモットは 2,000 種類以上のセンサー接続実績を誇り、データの収集を得意としています。

### Point リモート制御により機器の効率的な稼働を実現



従来、エネルギー効率を改善するためには必ず人的リソースが発生していました。IoT でデータ収集とリモート制御を実現することで、従来、管理者がおこなっていた監視業務を自動化することができます。

# IoT Platform

企業のGXを促進するIoTプラットフォームの構築



IoTソリューションをワンストップで提供

接続 <b>CONNECT</b>	IoTデバイス <b>DEVICE</b>	ネットワーク <b>NETWORK</b>	クラウド <b>CLOUD</b>	アプリケーション <b>APP</b>	AI <b>AI</b>
----------------------	--------------------------	--------------------------	----------------------	------------------------	-----------------

## 10,000件以上を超える導入実績で培った ヒト・モノ・コトをクラウドにつなげる力

センサーの豊富な接続実績



IoTにおいて機器の選定や既存機器と通信機器の接続試験は最も重要なポイントとなります。当社は創業当初からIoT専業で展開しており、カメラやセンサー、設備機器など多数の接続実績があり、多様なニーズに対応しています。

自社開発のIoTゲートウェイデバイス



当社では用途にあわせてIoTゲートウェイデバイスを自社開発しており、データロガーや接点・画像伝送端末だけではなく、ドライブレコーダー、エッジAIカメラ、センサー一体型デバイスの開発もおこないます。

モバイル通信をメインとし、LPWAや衛星通信も提供



KDDIを中心とした様々な通信キャリアに対応。LPWAを搭載したデバイスや山間部など通信環境が整備されていないところでの衛星通信の提供もおこなっています。

# Use Case

環境データの収集から機器のリモート制御、モビリティや災害対策にも対応



空気の見える化



電気の見える化



温度湿度の見える化



機器のリモート制御



水門のリモート制御



エコドライブ診断



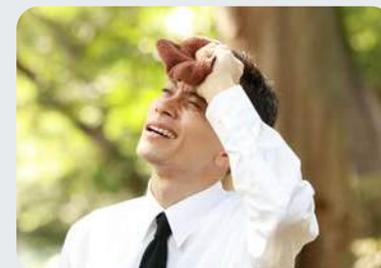
配送ルート最適化



災害の遠隔監視



ソーラー独立電源



熱中症計測

## 事例：KDDI IoT クラウド Standard



センサーからクラウド、データ表示機能までワンストップで提供

現地に設置したセンサーや、監視カメラなどの 2,000 種類以上の機器をインターネットに接続することでさまざまなデータの収集・分析が可能なサービスです。お客様の要望に応じてカスタマイズされたオンリーワンのアプリケーションを実現する「コース」、開発不要で簡単に導入が可能な「パッケージ」の 2 種のメニューから選択が可能です。

また、大切なデータは KDDI のセキュアなネットワーク環境で通信をするため安心です。専用画面のカスタマイズや帳票形式での出力にも対応しており、お客様の業務効率化やコスト削減・売り上げ増を支援します。

ロードヒーティングのムダな運転をIoTで削減し  
カーボンニュートラル社会の実現を目指す



IoT ゲートウェイデバイスとカメラを既存のボイラーに取り付けるだけで、リモートでボイラー運転制御・画像撮影を可能とし、融雪監視センターで24時間運転代行をおこなうソリューションです。

これにより、従来の自動（センサー）運転による積もらない程度の少量の降雪に対するムダな運転、雨やみぞれなどにも反応してしまう誤認運転などを解消し、現場の状況と雲の動き・気温・風速等の気象データを加味した効率の良い運用が可能となり、大幅に燃料コストを削減することができます。

エコモットが創業当初から提供しているソリューションで、札幌・北東北のマンションや商業用施設などに多くの導入実績があり、IoT や AI など最先端の技術を駆使して洗練されたオペレーティングを実現しています。

## 対象監視箇所数の推移と削減率



1シーズン約39,000トン<sup>(※1)</sup>のCO2削減に成功  
削減前年に比べ16,000トン増

今シーズンは2,900箇所以上の監視をおこない、年間で約39,000トン以上のCO2削減に成功しています。CO2削減量増加の要因として、札幌エリアでプラス温度まで上がる日が多く、効率的な融雪が可能となったこと。北東北エリアにおいて暖冬小雪だったことがあげられます。また、今シーズンからサンケーコーポレーションの監視対象物件をゆりもっと融雪監視センターに引き継いだことにより、物件数が増加したことも要因となっております。

※1 当社CRMと独自の調査により総削減量を算出

※2 参照：気象庁過去の気象データ検索 (<https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/>)

## 約13,500世帯分の年間CO2排出量をリカバリー

20,000世帯のリカバリーを目指し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。

※1 令和2年度 家庭部門のCO2排出実態統計調査の結果(確報値)について (<https://www.env.go.jp/press/110829.html>)

# Renewable Energy

パワーでんきイノベーションが群馬県吾妻郡長野原町に au リニューアルエネルギー向け再生可能エネルギー発電設備を建設



エコモットの連結子会社である、株式会社パワーでんきイノベーションが au リニューアルエネルギー株式会社向けに、2024年3月、群馬県吾妻郡長野原町で電力を KDDI 基地局等の設備へ直接供給することを目的とした再生可能エネルギー発電設備を建設しました。

今後も、再生可能エネルギー事業を拡大することで、2050年の脱炭素社会実現に向けた取り組みを加速していきます。

## <群馬県吾妻郡長野原町 発電設備概要>

太陽電池モジュール容量：550W×1680枚=924.0kW

発電出力：495.0kW

トランス容量：500kVA

想定年間発電量：1,001,259kWh

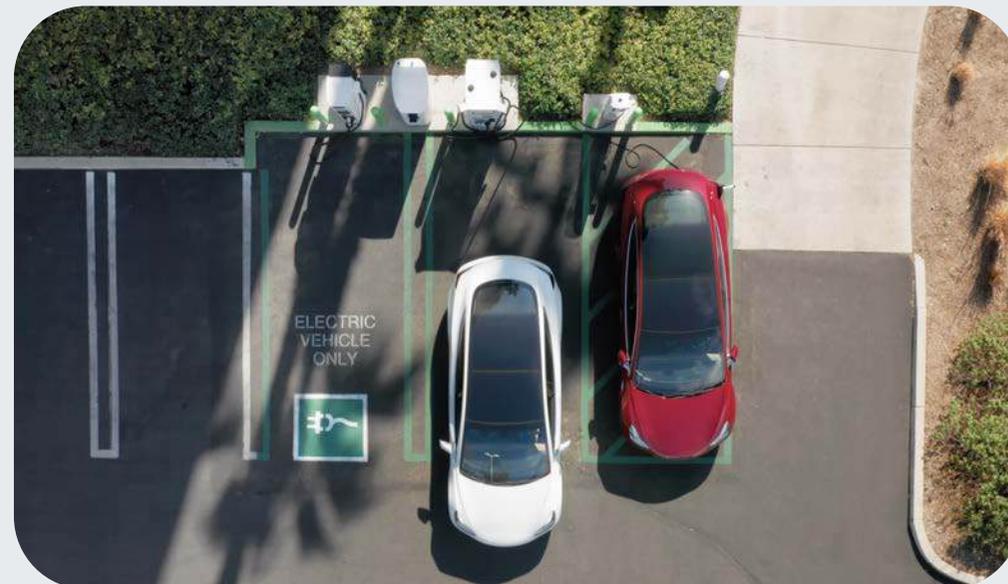
年間二酸化炭素削減量：851,645kg

桑園 JR 社宅跡地賃貸マンションに EV 充電インフラサービス「ユアスタンド」の導入が決定

日本の EV (EV・PHV) 普及率は低く、2023年8月における新車販売台数の3.5%程度となっております。しかし、欧州を発端とする世界的な脱炭素の流れを受け、電池を含めた一連の EV 開発は各国の重要な国家戦略の1つとなっています。日本政府も脱炭素の重要な施策の1つとして EV を挙げており、その普及率の低さを問題視しています。

エコモットは集合住宅への導入実績が豊富にあり、マンションでの運用において課題となる「予約」・「決済」をアプリで解決することのできるサービス「ユアスタンド」の北海道・青森エリアでの販売を進めています。

「ユアスタンド」は集合住宅を中心に全国で導入実績を伸ばしておりますが、北海道エリアに導入するのは今回が初となります。これを機に北海道エリアでの EV 充電スタンドの普及拡大を図り、カーボンニュートラルの実現に貢献します。



# Well Being 働く人

## 一人ひとりのウェルビーイング向上を目指して

健康管理や子育て・介護の福利厚生、柔軟な勤務体制の導入、メンタルヘルスサポートの提供など、多様な取り組みを通じて、社員とその家族や大切な人が心身ともに健康で充実した生活環境を構築できるよう努めています。また、定期的なフィードバックと資格支援制度を通じて、社員が自分らしく力を発揮できるよう支援しています。

働きがいのある仕事・より良い働き方の構築

社員やその家族・大切な人のウェルビーイングの向上

チームワークの向上と健康な体づくり

## Well Being とは？

ウェルビーイング (Well-being)とは、身体的・精神的・社会的な健康と充実感がそろった良好な状態のことを指します。単純に病気がないだけでなく、心身のバランスが整い、夢や目標に邁進し生活全般が満たされている状態です。

仕事においては、社員がやりがいや生きがいを感じ、ストレスが少なく、安心して働ける環境をつくるのがウェルビーイング向上の目的とされています。

# Make a Good Work

社員が自分らしく力を発揮できる職場環境  
仕事でもプライベートでも、より充実できるようサポート



若手社員でもすぐに馴染める働きやすい職場環境  
目標をサポートするための福利厚生も充実

## Q. エコモットでどんな仕事をしていますか？

私はプロジェクトリーダーをやっています。お客さまとの連絡・調整をしたり、メンバーのフォローなどをメインでやっております。**みんなでひとつのモノ・ひとつの機能ができた時はすごいやりがいを感じています。**



プロジェクトリーダーとして活躍している S.N.さん

## Q. 今後の目標ややりたいことは？

仕事はクラウドについての理解を広げたいと思ってます。資格を取るとかハンズオンをやってみるなど勉強して、実際の業務に活かしていきたいです。プライベートはジムに行っているので、筋トレで体重を 65 キロにすることを目指しています。

## 開発職における平均資格取得数(※1)と主な資格

目標 2025年8月までに

**平均 2.0 件**

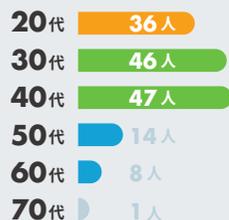
実績 2024年8月末現在

**平均 2.07 件**

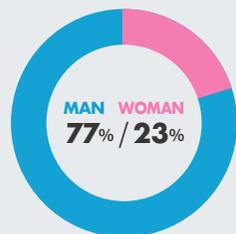
IoT システム技術検定 [中級]	4人
情報処理安全確保支援士	4人
AWS 認定 Solution Architect	10人
AWS 認定 Machine Learning Engineer	1人
G 検定 (ジェネラリスト検定)	5人
Azure Developer Associate	1人

※1 対象資格は IoT システム技術検定 [中級] 試験、情報処理安全確保支援士試験、AWS 認定試験、Microsoft Azure 認定資格、G 検定とします。

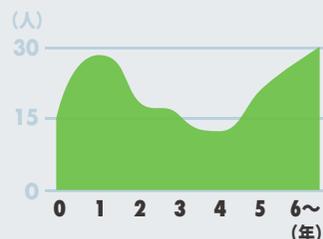
年齢構成



男女別構成比



勤続年数



エコモットはバランスの取れた年齢層で構成されており、女性も働きやすい環境となっています。また、外国人の社員数も年々増加しており、ダイバーシティ採用を導入しております。(2024年8月末現在)

# Welfare Benefits

子育て・介護支援を中心に生活をサポート  
モチベーション向上やフィットネス系など充実した福利厚生

ベビーシッター補助



予防接種補助



妊活補助



社内表彰制度



インセンティブ制度



資格取得奨励金制度



法人契約スポーツジム / 社内交流制度 / アルumni制度 / テレワーク制度 / フレックス制度 / 共済会制度



ヨガインストラクターのC.Kさん

## Q. 社内でヨガ教室を始めたキッカケは？

GRIFFY (エコモットのグループ会社) で働いているかたわら、副業でヨガインストラクターをやっております。

社長に「ヨガを会社で取り入れませんか？」という提案書を出して、それがOKしてもらえたので、月2回、仕事のあとに誰でも参加できるようなヨガ教室をやることになりました。

部署とか関係なく、いろんな人が参加しているので普

段あまり話す機会がない人と話せたり、終わったあとにご飯に行ったりとかあるので、すごい雰囲気はいいと思います。

## Q. エコモットの子育て支援はどうですか？

エコモットはすごく子育てに優しい会社なのかなと思っていて、「子の看護休暇」という制度があり、1時間単位で取得することができます。子供が熱をだしたとかで、急なお迎えができてしまった時も時間単位でサッと取得してサッと帰る。もちろん仲間の協力があってこそなんですけど、そういうのも



子育てと仕事の両立を心がけているT.Mさん

(社員のみならず) 気持ち良く「休暇とっていいよ」って言ってくれるような環境でもあるので、そういった面ではすごく助けられていると思っています。

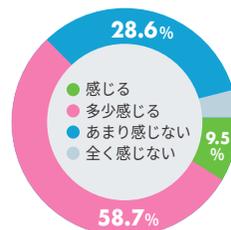
## 厚生労働省「くるみんプラス」に認定

認定基準を満たした上で、不妊治療と仕事の両立しやすい職場環境整備に取り組む一定の要件を満たした企業に対し厚生労働大臣が行う認定です。

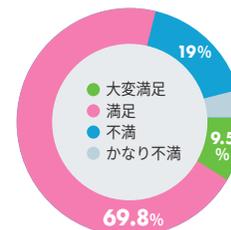


## サステナビリティに関する社内アンケートと制度利用率

Q. サステナビリティを意識した経営をしていると感じますか？



Q. エコモットの福利厚生に満足していますか。



Q. 男性社員の育児休暇取得制度利用率

目標：2025年8月までに  
**100%**  
実績：2024年8月末現在  
**25%**

アンケート結果をもとに、次年度以降 KPI を設定し、社内でサステナブル活動を浸透させていくとともに、ウェルビーイングの向上を目指します。(2024年8月末現在)

# Teamwork&Fitness

社員研修やイベントを通して馴染みやすい職場づくり



学生時代とは違った自由を楽しんでいる K.I さん

## Q. エコモット社員の印象は？

私は同期の存在が大きかったです。人数が多かったのでお昼話したらリフレッシュできて、そこから徐々に馴染んでいけるようになりました。

社会人になった時の「人間関係」の不安って、恐い人いないかなとか不安はあったんですけど、ほとんどなくて話しかけたらフランクに返してくれる人が多いので、馴染みやすかったです。

社員と経営者のミスマッチを防ぐための「私のトリセツ」



今年度から「私のトリセツ」作成に取り組んでいます。自分が心地よく過ごせるための方法や知っておいてほしい特徴・好み・嫌なことをまとめた「取扱説明書」のようなもので、これを共有することでチームワークの向上だけではなく、経営方針とのミスマッチが生じていないかの判断材料としても活用し、社員一人ひとりにとって快適で効率的な職場環境の構築を目指します。

## エコモット 2024年度イベントカレンダー

社員研修旅行 サステナビリティ研修 定時株主総会

IoTビジネス共創ラボ BBQ・キャンプ 環境広場さっぽろ

09月 10月 11月 12月 01月 02月 03月 04月 05月 06月 07月 08月

ソフトボール大会



納会・初詣



新卒入社式



リレーマラソン大会



野球部活動期間

野球部活動期間

ヨガ&バスケットボール&バドミントン部活動期間

その他部活動（不定期で開催）

## エコモットの部活動

- 野球（ソフトボール）部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- ヨガ部
- テニス部
- ゴルフ部
- テック部
- eスポーツ部

# I Love Hokkaido 社会貢献

## 北海道の持続可能なまちづくりを支援

私たちは、北海道の持続可能なまちづくりを支援するために、AI や IoT などの最先端テクノロジーを駆使して、地球温暖化による環境問題や人口減による少子高齢化問題などの課題解決を支援します。自然環境と調和した地域づくりや再生可能エネルギーの導入を推進し、住民が安心して暮らせる社会を目指しています。

次世代を担う人材の育成

安全で安心して暮らせるまちづくり

災害対策と復興支援

## 北海道の課題とは？

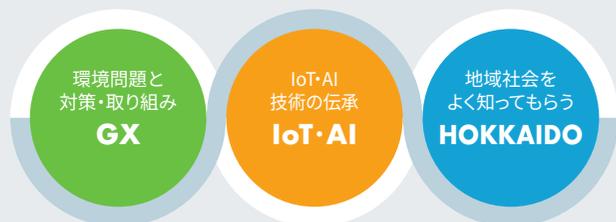
北海道は現在、人口減少や少子高齢化による地域経済の縮小や、道路・橋・水道といったインフラの老朽化による修繕管理、冬期間の CO2 排出量や災害対策など、多くの課題に直面しています。これらの問題を解決するため、持続可能なまちづくりや環境に配慮した産業の発展が求められており、効率的な管理と持続的な運用のための資金や技術の確保など、GX（グリーントランスフォーメーション）による改革が求められています。

# Personnel Training

北海道の未来を担う若い世代に学びの場を通じて  
IT テクノロジーや環境社会に配慮した行動や意識を育む



サステナブル社会を支える次世代のリーダー・技術者を育成



地域の環境・経済・社会の課題解決を導き出すためには、最先端テクノロジーだけではなく、多角的な視点や柔軟な発想が不可欠です。教育やイベントを通じて環境に配慮した技術や革新的なアイデアを活用できる人材の輩出を目指します。

【環境広場さっぽろ 2024】子供たちに環境問題を知ってもらう



毎年「環境広場さっぽろ」に参加しています。今年はゴミ分別チャレンジと題して、クイズに正解するとおやつがゲットできるゲームを出展しました。子供たちが楽しみながら環境問題や SDGs について学んでもらえるよう、毎年、工夫を施して参加しています。

中学生の企業訪問を受け入れ IT 人材の育成をサポート

地域の中学生がエコモットを訪問し、IT 業界や事業概要について学んでいただきました。プレゼンテーションでは北海道の IT 企業がどのように社会貢献しているのか、IoT 技術が生活や社会の中でどのように役立っているのかを紹介しました。



## 第 3 回北海道小中学生プログラミングコンテスト 札幌大会（全道大会）に協賛

エコモットは第 3 回北海道小中学生プログラミングコンテスト札幌大会に協賛いたしました。今後も、未来を担う子供たちの健全な育成および将来の IT 人材の育成などを図ることを目的に北海道の小中学生を対象にしたプログラミングワークショップ及びコンテストを支援することで北海道の IT を盛り上げます。

# Renewable Energy

## 北海道サステナブル推進協議会 鹿追町 & SDGs 未来都市・上士幌町研修ツアーに参加



エコモットは北海道サステナブル推進協議会メンバーとして、鹿追町環境保全センターと「SDGs 未来都市」にも選定されている上士幌町を視察してきました。

上士幌町では、「環境と調和した持続可能な農業とエネルギーの地産地消」「次世代高度技術の実装によるスマートタウンの実現」などの柱を軸に資源循環型農業や再生可能エネルギーの供給、スマートタウンなどの取り組みをおこなっており、その取り組みを参考に、今後のサステナビリティ活動に生かしていきます。

### Point やさしさっぽろメンバーズ（市社協の賛助会員）に参加



札幌市社会福祉協議会を通じて継続的に社会貢献をおこないます。

エコモットの特徴・強みを生かした社会貢献活動を進めることで多様な課題や困難を抱えている方々が少しでも豊かに生活できるようサポートし、誰もが安心して暮らせる社会を目指します。

研修では、バイオガспラント（鹿追町環境保全センター）の施設見学をおこない、生ゴミや家畜のふん尿が液肥やエネルギーに変わる資源循環型農業のしくみや余剰熱を有効活用したチョウザメの飼育やマンゴーの栽培、水素エネルギーの製造・利用について学びました。



また、上士幌町内ではドローン飛行レベル「レベル 3.5」の飛行承認を取得しており、ドローン配送がおこなわれていました。ほかにも、無人コンビニや自動運転バスなど、



高度情報通信網の完備による ICT をフルに活用したスマートタウンの取り組みが進んでおり、その基盤の随所に IoT が利用されていました。エコモットでは、この経験を生かして鹿追町と上士幌町の取り組みを広めるとともに、今後の社会貢献活動を進めていきます。

### サステナビリティ推進室担当者のコメント

鹿追町のムダのないエネルギー活用、上士幌町の地域全体で一丸となってサステナブル活動に取り組む姿勢に感銘を受けました。エコモットとして、社会にどう貢献できるかを考える良い機会となりました。視察で得た知見を、社内・社外での取り組みに活かしていきたいです。



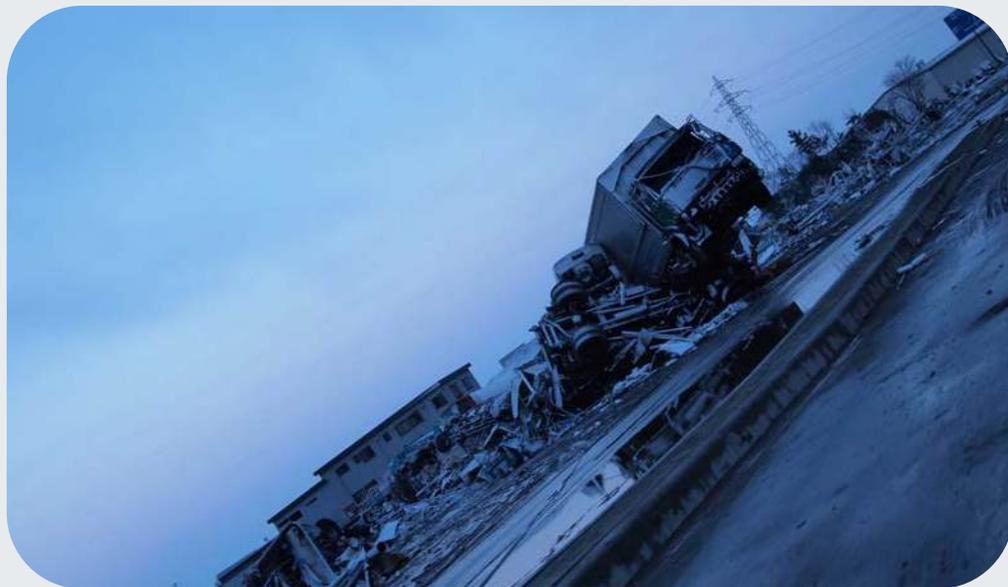
### Point 札幌市内のフードバンクに協力



エコモットでは、札幌市内でフードバンクをおこなっている「NPO 法人フードバンクイコロさっぽろ」の活動に協力しています。社員の自宅にある余った食品を福祉施設やひとり親世帯、こども食堂などに届けてもらうことで、安心して暮らせるまちづくりに貢献しています。

# Disaster Management

東日本大震災をきっかけに「IoTが救える命」をテーマに災害検知サービスの提供をスタート



創業5年目の当時、東日本大震災を目の当たりにして、「危険を知らせることが人命救助に貢献する。IoTで救える命がある」と確信しました。

この震災を機に、エコモットでは人の命を守るためのIoTを生み出すことが、私たちの使命と考えるようになり、「震災検知サービス」の提供開始、ならび「現場ロイド」製品のラインナップ拡充を図り、災害対策を支援しています。

## 「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

地震により大きな被害を受けた石川県内の行政機関、被災自治体支援や災害調査に携わる事業者様向けに、グループ会社である株式会社 GRIFFY の「遠隔臨場システム G リポート」を計40台、無償にて貸与いたしました。

二次災害から命をまもるIoTテクノロジー  
リモートモニタリングによる安全な現地確認

2018年9月6日、北海道胆振東部地震により地すべり被害が各地で発生しました。各地で地盤が緩んでおり、地すべり再発防止にあたって危険箇所の地表面変化を観察する必要がありました。

地すべりの予兆を察知するためには人による巡回監視を要しますが、現地は危険があり、リモートによるモニタリングが求められていました。当然ながら現地には電源や通信回線はなく、それらすべてを短期で用意しなければなりません。

ソーラー電源で駆動、モバイル通信機能を有する当社カメラシステムを複数箇所に設置。これにより現地の様子をどこからでも把握できるようになりました。

また、短納期への課題であった通信契約による出荷遅延、モニタリングアプリケーションの開発など、遠隔監視に必要なすべての要素をワンストップで提供できるため、要請から数日後には現地導入を可能としています。

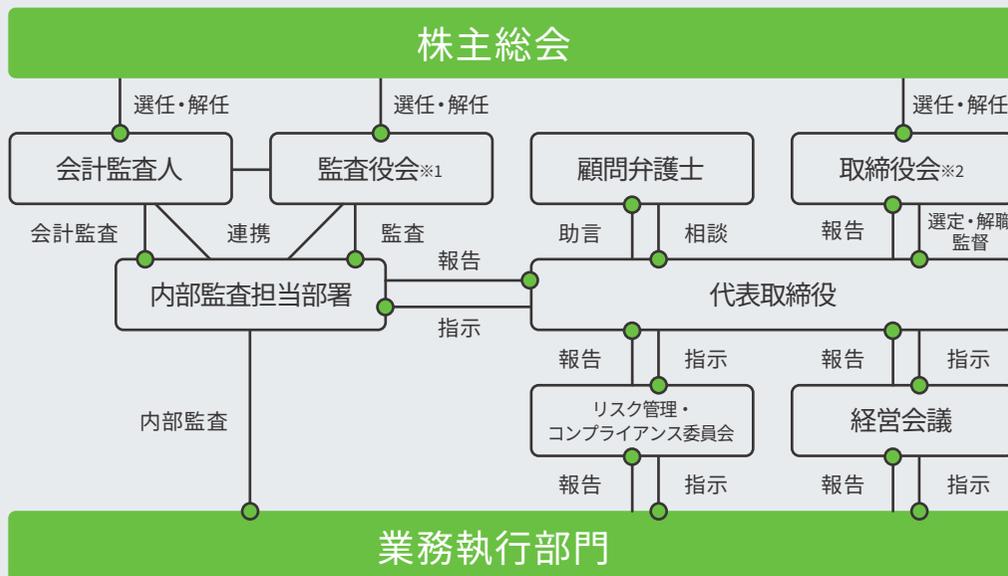


## コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、企業価値を継続的に向上させ、事業を通じて社会に貢献し、あらゆるステークホルダーから信頼される企業であり続けるために、コーポレート・ガバナンスの充実が重要な経営課題であると認識しており、経営の健全性や機動性の向上を図るとともに、経営の透明性を確保するための経営体制を構築し、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでおります。

2024年11月現在、取締役会を構成する6名の取締役のうち、女性を含む社外取締役を2名選任し、多様な視点を経営に反映させるとともに、経営戦略の方針に関する意思決定機関及び職務執行の監督機関としての役割を担い、社外監査役3名で構成される監査役会が監査機関としての役割を担っており、ガバナンス体制の充実に努めるとともに、若手の抜擢人事などを行い次世代のマネジメント層育成に努めてまいります。

### コーポレート・ガバナンス体制図



※1 監査役会（監査役3名内3名は社外監査役） ※2 取締役会（取締役6名内2名は社外取締役）

## ISMS 認証について

### ■ ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の国際規格認証取得の背景、目的

昨今、情報セキュリティ上のリスクが多様化・高度化・複雑化しており、IoT システムインテグレーターとして大量のデータを取り扱う当社といたしましては、セキュリティ対策を講じ、常に安心・安全なサービスを提供し続ける事は最も重要な経営課題の一つです。この課題を解決するにあたり、ISMSの構築、認証取得することにより、全社的なセキュリティ対策への意識を更に向上させると共に、常に新たなセキュリティリスクへ対応可能な組織となり、更なる事業発展に資するに値すると考え、取得するにいたしました。

当社の情報セキュリティ基本方針のページ：<https://ecomott.co.jp/security.html>



### ■ 認証登録概要

認証規格：JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)

認証登録範囲

- ・IoT システムインテグレーションサービスの提供
- ・IoT パッケージサービスの提供
- ・AI 技術を活用した調査分析業務およびシステム開発

組織名称：エコモット株式会社 / 株式会社 GRIFFY

対象事業所

- ・本社、札幌営業所、東京営業所、青森営業所、仙台営業所、北信越営業所、東海営業所、関西営業所、

中四国営業所、九州営業所、第一工場（2023年10月現在）

初回登録日：2019年10月21日

審査登録証：JP19/080587

認証機関：SGS ジャパン株式会社

※1 当社 CRM と独自の調査により総削減量を算出

※2 参照：気象庁 過去の気象データ検索 (<https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/>)

# Company

## 会社概要

商号	エコモット株式会社 (Ecomott Inc.)
代表者	代表取締役 入澤 拓也
設立	2007年2月19日
資本金	6億1,796万円 (2024年8月末現在)
本社所在地	〒060-0031 北海道札幌市中央区北一条東1丁目2-5 カレスサッポロビル7F TEL: 011-558-2211 / FAX: 050-3156-3988
各拠点	東京営業所・青森営業所
従業員数	153名 (2024年8月末現在 連結)
事業内容	IoT インテグレーション事業
証券コード	3987 上場証券取引所 東京証券取引所グロース市場 札幌証券取引所アンビシャス市場
加入団体	北海道経済連合会 / 札幌商工会議所 / 一般社団法人北海道 IT 推進協会 / 一般社団法人北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会 / 一般社団法人 さっぽろイノベーションラボ / i-Construction 推進コンソーシアム / AI x IoT ビジネス共創ラボ / 北海道 AI x IoT ビジネス共創ラボ / 札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアム / 民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク / 公益財団法人財務会計基準機構
適格請求書発行 事業者登録番号	T6430001034659

## グループ会社



### 株式会社パワーでんきイノベーション

再生エネルギーの活用を中心とする、太陽光発電システムや蓄電池システムなどの企画・設計・販売・施工を提供。また、エコモットグループとして、IoT・AI テクノロジーとの融合でさらなるエネルギー関連市場に対する挑戦をしていく

URL <https://power-denki.com/>



### 株式会社 GRIFFY

20,000 件を超える現場導入実績を持つ DX プロダクトのレンタルサービスを収益基盤として、ゼネコン各社との共創を通じた DX ソリューションの創出を加速。今後はアプリケーション開発とサービスのサブスクリプション提供を強化することで、収益性の向上および販売チャネルの多様化を目指す

URL <https://griffy.co.jp/>

### エコモット株式会社 サステナビリティレポート 2024

発行：2024年11月27日  
お問い合わせ：エコモット株式会社 サステナビリティ推進室  
ご意見ご要望：(URL) <https://www.ecomott.co.jp/opinion/>



もっと、グリーンな明日に。

*Towards a Greener Tomorrow*

発行元 エコモット株式会社

〒060-0031 北海道札幌市中央区北一条東1丁目2-5 カレスサッポロビル 7F

TEL: 011-558-2211 / FAX: 050-3156-3988